



市外高校への通学定期代 半額補助を実現!!

昨年9月から市内高校等への通学定期代を無料としましたが、市外通学も補助を拡大してほしいとの声にお応えし半額補助を実現しました。市の内外で差を設けているのは、教育費の負担軽減とともに市内の高校を守るためです。

市内に在住の高校生



■補助金の申請について

申請受付	令和8年1月頃から受付予定（後払い）
対象期間	令和7年4月1日から 令和8年3月31日の12カ月
申請方法	保護者が原則 e-KOBE（神戸市スマート申請システム） で電子申請 ※電子申請が出来ない場合は 紙の申請用紙を行政事務センター （☎291-5952）から取り寄せ 記入後に郵送
申請に必要なもの	● 学生証の写真 ● 通学定期券を購入後、 毎回定期券面の写真を撮影し、 保存しておく
支払い方法	指定の口座に一括支払い



令和7年度

市民の声を地道に実現

医療
高齢者

終活をサポートする 窓口を開設

財産管理や医療・介護、葬儀・遺言等、将来に向けた不安を聞いて、公的制度や民間サービス等の必要な支援につなげる「終活総合相談窓口」を令和7年10月より開設します。

また、頼れる身寄りがなくご自身の葬儀や納骨に不安を持たれる方に対する「エンディングサポート事業」の所得制限を撤廃の方向で検討しています。



医療
高齢者

带状疱疹ワクチン 65歳半額補助

昨年実現した带状疱疹ワクチンに4,000円補助を本年も継続(50歳以上60歳以下)。

国にも党挙げて要望し65歳を対象に、高価格の「組み換えワクチン」も含め半額補助が実現。いずれも1回かぎりですが65歳以上の方は70歳時に補助を受けられます。



医療
高齢者

ワクチン相談 窓口を一本化

インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、コロナワクチン、带状疱疹ワクチンなど種類が多くなってきた予防接種について、高齢の方を対象とした相談窓口を令和7年4月より1本化し、分かりやすくします。



◆シニア予防接種コールセンター
TEL: 777-4349 FAX: 291-5953

生活

バス停留所の屋根・ベンチの整備を進める

市内のバス停留所への屋根やベンチの整備を加速します。

特に、民間バスの停留所では老朽化した屋根の修繕が進んでいない場所もあるため、市が積極的に地域の声を集めて民間バス事業者に費用の一部を助成して整備を後押しします。



生活

「樹林葬墓地」を 新たに整備

生前に墓を考える時代の到来が叫ばれ、自然回帰への志向が高まる中、樹木を墓標とする「樹林葬墓地」の利用意向が市民アンケートで6割を超えました。そうした意向を受け、令和8年夏ごろ北区ひよどりごえ森林公園内に「樹林葬墓地」を整備します。



完成イメージ

子育て

共働き子育て しやすい街・全国1位

(日本経済新聞社・日経BP)

神戸市は、こどもの成長に応じた切れ目のない子育て支援の取り組みが評価され、「共働き子育てしやすい街ランキング」で、2024年全国1位を獲得しました。

本年度も、保育所に通っていない子どもを受け入れる「こども誰でも通園制度」の実施施設を2倍に増やすなど、子育て支援の充実に努めます。



防犯
防災

災害時にも安心 トイレカーを導入

東日本大震災や、能登半島地震でも活躍したトイレカー。神戸市でも導入を求めた結果、車椅子対応のトイレカーが1台導入されます。

普段はトイレの無い里山整備や防災イベントで、有事には避難所で活用します。

また災害派遣トイレネットワークプロジェクトにも加盟して神戸のトイレカーが全国の被災地で活躍できるよう取り組みます。



参考写真(南あわじ市のトイレカー)

防犯
防災

災害時 すぐに治療できる 医療体制を整える

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、各区役所や医師会等の関係機関に衛星通信回線(スターリンク)を導入し、救護所の迅速な開設と機能強化を図ります。

さらに、神戸市医師会のD-Kometと連携し、全区で救護所設置や医療チーム要請の初動対応訓練を実施し、実効性のある医療活動につなげます。



防犯
防災

まちの安心を守る 防犯カメラを倍増

防犯の抑止効果が大きい防犯カメラを令和5年度までに2,500台設置してきました。

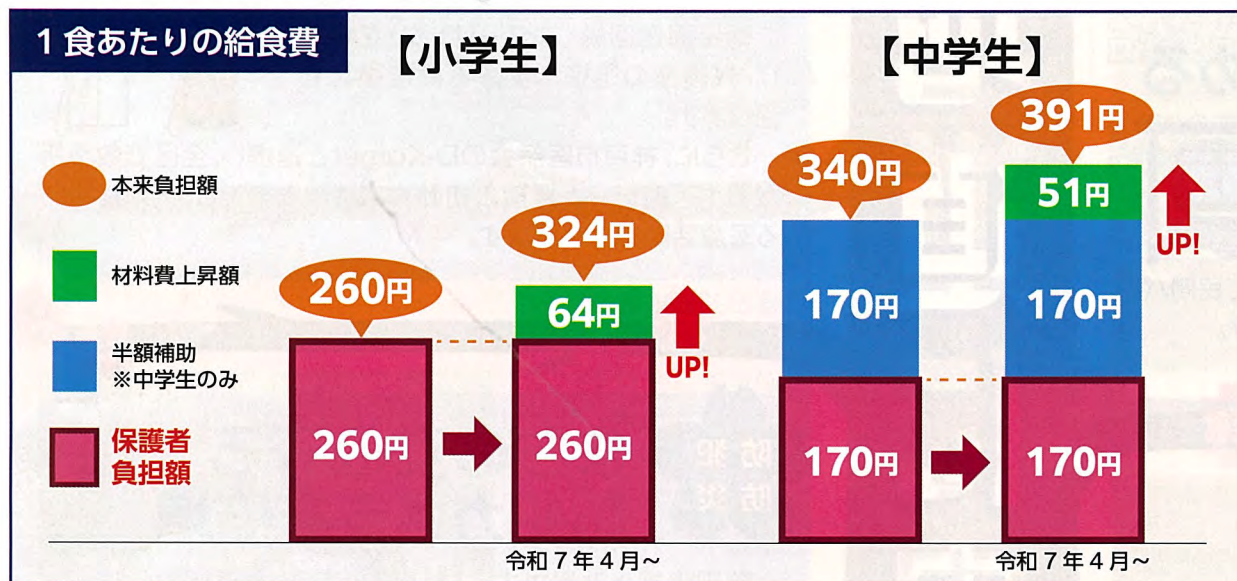
市民の皆さんから更に設置要望を頂き、今年度は通学路や駅周辺に1,000台、住宅地で400台を増設し、令和8年度までに5,000台に倍増します。

さらに自治会等で設置している地域のカメラを市直営のものに置き換えることで地域負担の軽減も図ります。



給食費の値上げをストップ 食材費値上がりにより19億円の補助を実現

物価高騰が続く中、保護者の皆さまの負担を増やさないよう政府の臨時交付金を活用し、給食費の値上げをストップしました。



商店街振興策を 高橋みつお参議院議員に要望

萩原市会議員は元町六丁目商店街振興組合の片山泰造理事長とともに高橋みつお参議院議員に、商店街振興策の充実に要望。神戸でも増えるインバウンド客に対し、明治期からの多文化都市神戸の歴史を感じさせる魅力を多言語でPRする取り組みへの支援を求めた。



高橋みつお参議院議員（中央）へ要望

市政へのご意見・ご相談は
下記の各区所属議員に
お問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢

TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘 区

高瀬 勝也

TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三

TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記

TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北 区

徳山 敏子

TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com



北 区

堂下 豊史

TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子

TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ

TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤

TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com



垂水区

細谷 典功

TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西 区

吉田 謙治

TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西 区

宮田 公子

TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com



「神戸モデル」の制服で 負担軽減と多様性をカタチに

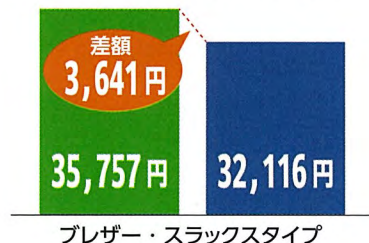
令和7年度から、市立中学校ではすべての学校で「神戸モデル標準服」が着用できるようになりました。これは、保護者の経済的負担の軽減や、性の多様性に配慮することを目的としたものです。しかしながら、保護者の方々からは、「以前よりも制服の価格が高くなっている」「販売店ごとに価格が異なるのは納得できない」といった疑問の声が寄せられています。

こうした声に対しては、一人ひとりの保護者が納得できるよう、丁寧で分かりやすい説明を行うことが必要であると訴えました。

■神戸モデル標準服導入校の 平均価格(令和7年5月)

■ 独自標準服価格(令和7年～) 49校

■ 神戸モデル標準服価格
(令和7年～) 全員着用校：33校



選べる制服が家計の味方になる

福本教育長は、制服の価格に差があることについて、素材や仕様の違いによるものであると認識しており、制度の趣旨や購入方法について、より分かりやすく周知を強化していく方針を示しました。

また、制服の選択制は今後も維持し、リユース(古着の活用)についても民間と連携して仕組みづくりを進めていくと答弁しました。

公明党市議団として、「経済的負担の軽減」という本来の目的が保護者の皆さまに実感いただけるよう、制度の運用やリユース体制の整備、そして情報発信の改善に今後も取り組んでまいります。

※本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



神戸モデル標準服

住宅

市営住宅 家賃減免手続きを簡素化

市営住宅の家賃減免は原則3か月ごとに窓口で更新手続きが必要。交通費や待ち時間が負担がなっています。

特に収入に変動のない世帯や、就労中の世帯にとっては大きな負担となっているため、更新期間の延長や郵送申請の拡充を求めました。

久元市長は、原則1年への延長や、窓口・郵送の選択制導入を「早急に検討する」と明言しました。



北区の市営住宅

住宅

市営住宅の管理は 支援の強化で安心を

市営住宅では、草刈りや清掃など共用部分の管理を入居者に任せてきましたが、高齢化や自治会の解散が進み、管理が行き届かない住宅も見られるようになっていきます。こうした状況を踏まえ、費用負担の在り方も含めて市の支援を求めました。

久元市長は、共益費を家賃と一括で徴収し、指定管理者が清掃等を代行する制度を導入しており、今後は入居者や自治会の意向に寄り添いながら、制度導入に向けた合意形成の支援に取り組む方針を示しました。



福祉

障がいの有無をこえて、すべての 子供たちが楽しめる遊具の設置を

障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが一緒に安心して楽しく遊ぶことのできる遊具をインクルーシブ遊具と呼びます。子ども達に平等な遊びの場を提供するためにも、まずは市内全区にインクルーシブ遊具を設置するように要望しました。

今西副市長は、各区の拠点公園の中で既に設置を進めており、今後も地域の意見や利用状況も参考にしながら、インクルーシブ遊具の設置を検討していきたいと答弁しました。



しあわせの村(北区)のインクルーシブ遊具

防災

自然災害の 犠牲者ゼロに

2011年3月の東日本大震災の教訓を踏まえ、公明党が主導して「神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例」を制定し、災害時の高齢者や障がい者など「避難行動要支援者」の名簿作成が義務付けられました。しかし現在、その名簿が実態に即しておらず膨大な人数になっているため、地域ごとに高齢化の進捗状況や支援体制など、実情を踏まえ見直すべきと訴えました。

久元市長は、有識者会議での意見を反映し、支援の重点化と計画の実効性に努めると答弁しました。



市民参加
地域活動

若者の地域活動への 継続的な参加支援を

地域活動の担い手の高齢化や固定化を打破するためには、学生や若者の参加が活性化や持続可能性にとって大変重要です。それらを担ってきたのが学生団体ですが、学生団体は常に人が入れ替わる特徴があります。

これまでは継続した補助金で運営されてきましたが、補助金の整理により3年間の期間限定の制度のみとなったことから、学生団体には継続的な補助金が必要と訴えました。

当局からは、若年層を受け入れた地域団体には謝礼や交通費等の補助を追加しているとの答弁がありました。しかし、必要なのは団体への直接的・継続的支援であることから、市長に見解を求めたところ、課題の認識は共通しており、引き続き検討すると答弁がありました。



農政

食料自給率をUPする 就農者への支援拡充を

7月の参院選でもわが国の食料自給率の低さが話題となりました。就農人口を増やすため、新規就農者だけでなく親元就農(家業を継いで農業に従事する)への支援や省力化のためドローンなどを利用したスマート農業への支援拡充が必要と訴えました。



自動運転トラクター

今西副市長は、親元就農の支援は、国の制度が拡充してきているため、農家からの相談に寄り添って積極的に制度の活用を図りたい。また、ドローン等のスマート農機具は省力化に効果的である一方、現在は高額な民間保険しかないことから、兵庫県農業共済に対して共済の対象にするよう働きかけると答弁しました。

まちづくり

住民の声でアジュール舞子 公園計画見直しへ

神戸市が地元住民との事前協議を怠り、アジュール舞子の公園整備を進めようとしたため、生活環境の悪化を懸念する住民から不安の声が上がっていることを指摘しました。その背景には、市の組織内で過去に住民と交わした公園に関する約束事が十分に引き継がれていなかったことにありました。



アジュール舞子上空写真

久元市長は、公園整備について一旦立ち止まり、住民説明会を開催したうえで、地元の意見を取り入れながら事業を進める考えを示しました。また、住民との約束を確実に引き継ぐための仕組みを整備することも約束しました。

まちづくり

市役所1号館、 展望ロビーもっと魅力的に

市役所24階の展望ロビーは、六甲山や大阪湾が一望でき素晴らしい景色が広がっています。県内外からも遠足などで多くの児童生徒も訪れるスポットとなっていますが、新型コロナウイルス感染症を境に、飲食店も撤退されせっかくの展望台からの眺望スペースも生かされていません。

そこで、市民や職員がもっとリフレッシュできるようなスペースにするべきと提案したところ、久元市長は市民ファースト、公的利用優先で見直していくと答弁をしました。



一人ひとりの声を実現します

「フォートナイト」を活用した新しい防災教育の試み

本年、阪神・淡路大震災より30年目の節目を迎え、震災の記憶や教訓の継承が課題となっています。震災を直接経験していない世代にも防災への理解を深めてもらうために、精巧な3DCGを用いる、「フォートナイト」といった子ども達に人気のメタバースゲーム上に震災当時の神戸の街を再現し、その街を歩く疑似体験を防災授業として取り入れてはどうかと提案しました。

教育長からは、民間企業や研究機関等と連携し、メタバースゲームを活用して疑似体験ができるよう検討していくとの答弁を引き出しました。

その結果、フォートナイト上に神戸の街を再現し、ゲーム感覚で自らの判断をもとに行動し、震災当時の神戸や防災の知識を身につける防災学習ゲームがこの度完成しました。



【公開場所】オンラインゲーム「Fortnite」

<https://www.fortnite.com/@meta-heroes/9194-5604-2704?lang=ja>

※島コード:9194-5604-2704

※「ディスカバリー」画面で島コードを入力→「プレイ」を選択で参加



公明党が実現 神戸にマウンテンバイクルート誕生

脱炭素化や健康志向の高まりなどから、自転車への関心が高まっています。令和5年5月の一般質問で神戸市における自転車のモデルルートの策定を岩佐議員が提案しました。

久元市長はマウンテンバイクのモデルルートを設定し、神戸市内の様々なエリアで民間団体や企業とも連携して、たくさんの方に来て頂けるよう取り組みを加速させていくと答弁していました。

その結果、本年5月31日、六甲山の森林植物園内に「マウンテンバイクフォレスト神戸」が供用開始となりました。



市政へのご意見・ご相談は
下記の各区所属議員に
お問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢

TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘 区

高瀬 勝也

TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三

TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記

TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北 区

徳山 敏子

TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com



北 区

堂下 豊史

TEL.080-4363-9251
dosita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子

TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ

TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤

TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com



垂水区

細谷 典功

TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西 区

吉田 謙治

TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西 区

宮田 公子

TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com